

神奈川県横須賀市秋谷方言の比喩語について

大塚 徹

はじめに

- 1、調査対象地：横須賀市は神奈川県の南東部、三浦半島の中央部に位置する湾岸・商工業都市。市域の北部は横浜市、北西部は逗子市・三浦郡葉山町、南は三浦市に接し、東は東京湾と浦賀水道、西は相模湾に面している。明治40年市制施行。人口約42万8,200万人、(1987年2月現在)面積99.47㎢、市内には大楠山・武山など丘陵性山地が広く分布し、起伏が多く、谷戸と呼ばれる小さな谷が入り組んでいて、トンネルと坂の多いのが特徴である。(『郷土資料事典 県別シリーズ14』人文社による)
- 2、調査年月日時：1993年2月16日 午後1時05分～3時10分
- 3、被調査者：新倉義博 昭和4年8月22日生(63歳)他地での生活なし。
新倉きく 大正8年10月10日生(73歳)他地での生活なし。
- 4、調査者・調査場所：大塚徹、話者宅
- 5、調査方法：質問紙法による面接調査で行った。なお、音声記号と音調表記に関しては早野慎吾が行った。音調における上昇は神奈川県では弁別の特徴を有するアクセントではなく、句を単位とする句音調である。

調査結果・各項目において新倉義博氏の回答を①で、新倉きく氏の回答を②で示した。

- ・回答例のない場合は(N. R)とした。
- ・比喩語でないと判断したもの、または共通語と一致したものは()で括った。

I 《自然現象》

- | | | |
|--------|-----------------------------------|----|
| 1 日照り雨 | (キツネノヨメイリ [kiʔsünojojomeiri] <名>) | ①② |
| 2 入道雲 | (ニュードグモ [nu:do:gumo] <名>) | ①② |
| 3 旋風 | (ウズマイテイル [uzümäiteiru] <名>) | ①② |

- 4 霜柱 (タッペ [tappe] <名>) ①
 5 つらら (ツララ [tsurara] <名>) ①②
 6 北斗七星 (ホクトシチセー [hokutoŋitŋise:] <名>) ①②
 7 鼻 (N. R)
 8 流れ星 (ナガレボシ [nagarēboŋi] <名>) ①②
 9 黒い雲 ドテツク [dotetsuku] <動> 老年層 稀 古 ①②

晴れた夕方、西の空に黒い雲があるとき、その雲を言う。

(ドテル: 秣と白米飯と混ぜて甘酒の素をつくり、できあがって甘酒にするととき茶碗の底によどんでたまっていること。

不出来のときにドテル。『三浦耳袋 神奈川県民俗シリーズ 9』より)

II 《動物・植物》

- 10 かわはぎ (カワハギ [kawahagi] <名>) ①②
 11 ひらめ (ヒラメ [hirame] <名>) ①②
 12 ひきがえる (ヒキガエル [hikigaeru] <名>) ①②
 13 青大将 ヌシ [nuŋi] <名> 老年層 稀 古 ①②
 14 とかげ (トカゲ [tokage] <名>) ①②
 15 かまきり エボッタ [ebotta] <名> 老年層 稀 古 ①②
 人間のイボをとらせたから。
 16 みずすまし シロカケムシ [ŋirokakēmuŋi] [ŋirokakēmuŋi] <名> 老年層 稀 古 ①
 代掻き 水田に水を引き入れ、土を砕き、ならして田植えを
 すること。『大辞林』
 苗を植える前、田をならすときに目にするから。
 17 きつつき (キツツキ [kitsutsuki] <名>) ①②
 18 せきれい (シリフリ [sirifuri] <名>) ①
 いつも尾を上下にふっているから。
 19 ふくろう ゴロスケ [gorosuke] <名> 中~老年層 盛 古 ①②
 20 地蜘蛛 (ケンカグモ [kenkagumo] <名>) ①
 21 馬鈴薯 マルイモ [maruimo] <名> 老年層 稀 古 ①
 その形から。
 22 とうもろこし (モロコシ [morokoŋi] <名>) ①②
 23 いんげん豆 (インゲンマメ [ingenmame] <名>) ①②

- 24 そら豆 (ガンマメ [gãmmame] <名>) ①
- 25 木くらげ (キクラゲ [kikurage] <名>) ①②
- 26 げんのしょうこ (ゲンノショーコ [gẽnnoçõ:ko] <名>) ①②
- 27 どくだみ (ドクダミ [dokudami] <名>) ①②
- 28 いたどり (ツカンボ [tsũkambo] <名>) ①②
- 29 からすうり (カラスウリ [kafrasũ:ri] <名>) ①②
- 30 すみれ (スミレ [sũmire] <名>) ①②
- 31 春蘭 ジージーバーバー [dʒi:ʒī·ba:ba] <名> 老年層 稀 古①②
- 32 母子草 (ハハコグサ [hãhakoŋusa] <名>) ①②
- 33 ねむの木 ネブタ [nebuta] <名> 若~老年層 盛 古 ①②
夜になると葉が眠った様に縮むから。
- 34 ホタルブクロウ チョウチンバナ [tçõ:tçĩmbana] <名> 若~老年層 盛 古 ①②
花の形が提灯のようだから。
- 35 髪切虫の幼虫 テッポームシ [teppo:musçi] <名> 老年層 稀 古 ①②
樹木に害を与える幼虫全般を指すかもしれない。
- 36 ヤツデ テングツバ [teŋgɯppa] <名> 老年層 稀 古 ①②
天狗の持っている葉の形と似ているから。
- 37 アロエ イシャイラズ [içaiɾazũ] <名> 中~老年層 盛 古 ①②
医者がいらなくらい体によく効くから。
- 38 榎 カタギ [katagi] <名> 老年層 稀 古 ①
榎は堅い木だから
- 39 ゴキブリ セーハチ [se:hatçi] <名> 中~老年層 盛 古 ①
- 40 タニシ タツボ [ta:tsũbo] <名> 老年層 稀 古 ①
田んぼにある壺のようだからか。

III 《性向》

- 41 熱しやすく冷めやすい人 (アキッポイ [akippõi] <形>) ①②
- 42 あわてん坊 (N. R)
- 43 動作の鈍い人 (ウスノロ [usũnoro] <名>) ①②
- 44 嘘つき センミツ [semmitsũ] <名> 老年層 稀 古 ①②
千のうち三ぐらいしか本当のことを言わないから。
サンビャクダイゲン [sãmbjakudãigeN] <名> 老年層 稀 古 ①②
三百の事を言っても殆ど本当のことがないからか。

- (デホラク) [dehoraku] <名> 老年層 稀 古 ①②
 デホラクユーナ (嘘言うな) [dehorakujū:na]
- 45 ほらふき イットンプロシキ [i'tamburoŋiki] ①②
 <名> 若~老年層 稀 古
- 46 おしゃべり クチハッチョウ [kuŋqihātŋo:] <名> 老年層 稀 古 ①②
 口を巧みに使うことから。
 はっちょう 物事に巧みなこと。『大辞林』
- 47 冗談言い (N. R)
- 48 口先だけの人 (N. R)
- 49 とんちんかんなことを言う人
 (デマカセ [demakase] <名>) ①②
- 50 のらりくらり煮えきらない人
 (N. R)
- 51 怒りっばい人 (チンバラタチ [tŋimbarātatŋi] <名>) ①②
 解釈が不明。
- 52 むら気な人 (N. R)
- 53 おてんば娘 (N. R)
- 54 泣き虫 (ナキンベ [nakimbe] <名>) ①②
- 55 臍白坊主 (N. R)
- 56 出しゃばり (サキバシリ [sakibaŋiri] <名>) ①
- 57 どこへでも顔を出す人
 (N. R)
- 58 家にこもって外出しない人
 (ヒッコミジアン [çikkomizian] <名・形動>) ①②
- 59 小心者 (N. R)
- 60 内弁慶 マッコダイショー [makko:daiŋo:] <名> 老年層 稀 古
 マッコは囲炉裏を指す。囲炉裏の前(家のなか)でのみ
 威張っている人を指す。 ①②
- 61 社交性のない人 (N. R)
- 62 妻に対して頭の上がない男
 (シリニヒカレル [çiriŋiçikareru]) ①②
- 63 けち ヒツツカミ [çitŋtsükami] <名> 中~老年層 稀 古 ①②
 つかんで放さない。
 ニギリヤ [niŋirija] <名> 中~老年層 稀 古 ①②
 握って放さない。

64 欲張り (N. R)

IV 《食生活》

65 味覚の鈍いことを罵る

デンボクチ [dembōkutçi] <名> 老年層 稀 古 ①②
デンボは臀部を指す。

66 てずかみで食べる

ゴゼンバシ [gōzembāçi] <名> 老年層 稀 古 ①②
五本の指で食べるからか。

67 大食漢 (クライヌケ [kufainuke] <名>) ①②

68 ぼたもち (ボタモチ [botamotçi] <名>) ①②

69 砂糖味が薄い サトヤヲスドーリシタアジ [sato: jao sūdō: riçita: zi] <名> 老年層 稀 古 砂糖屋を素通りした味。 ②

70 塩味が薄い (N. R)

71 大酒飲み (ノンベ [nōmbe]) ①②

72 酒に酔ってくだをまく

(N. R)

73 酒に酔って顔が赤くなるさま

(N. R)

74 ごまあえ ゴマヨゴシ [gōmajogoçi] <名> 中～老年層 稀 古 ①②
作り方が胡麻をよごしたようになるから。

75 せいろ ハヤブカシ [hajabukaçi] <名> 老年層 稀 古 ①②
早く蒸かせるから。

76 よもぎ クサノハナ [kusanohana] <名> 老年層 稀 古 ①②

V 《動作・様態》

77 ずぶ濡れ・びしょ濡れになる、そのさま (N. R)

78 服装がだらしないさま デレスケ [dérésuke] <名> 老年層 稀 古 ①②
でれでれした男を指す

79 髭がのび放題なさま (N. R)

80 厚化粧をしている人 (N. R)

81 背丈の高い人 (N. R)

82 出びたい (N. R)

- 83 汗がひたいから流れ落ちる (N. R)
- 84 目を丸くする ドングリマナコ [doŋguri mānako] ①②
 <名> 老年層 稀 古
 どんぐりの様に目を丸くする。
- 85 焦げたにおい (N. R)
- 86 遠廻り ナベズル [nābezuru] <名> 老年層 稀 古 ①②
 鍋の鉋の様子から。
- 87 末っ子 (N. R)
- 88 年をとって生んだ子 ハジカキッコ [haʒikaki kko] <名> 老年層 稀 古
 高齢で出産した子は、このように呼ばれた。
 (末っ子の場合が多い) ①②
- 89 一生懸命頑張る ヘクソタレ (テガンバル) [hēkusotare] <動> 老年層 稀 古
 一生懸命取り組むと力んで屁や糞が出るということから。 ①②
- 90 恥ずかしくて顔が赤くなるそのさま (N. R)
- 91 どしゃ降りの雨 (N. R)
- 92 耳下線炎 ホーッパレカゼ [hoʔparekaze] ①②
 <名> 若~老年層 盛 古

おわりに

本調査では比喩方言と呼べるものを多く採取することができなかった。標準語形もしくは比喩の形式をとらない語形が多かった。

(おおつか とおる 専修大学文学研究科)